

平成18年度 第1回 函館市南茅部地域審議会会議録

開催日時	平成18年 7月14日 金曜日 午後2時00分～午後3時05分				
開催場所	函館市南茅部支所3階 多目的ホール				
内 容	<p>報告事項  (1) 前回の意見等の集約結果と取り組み状況について</p> <p>議 題  (1) 平成17年度事業の実績について</p> <p>地域振興全般に関する意見交換</p> <p>その他</p>				
出席委員	秋本委員 鎌田委員 堀野委員	高田委員 尾上委員	濱田委員 大槌委員	加藤委員 坂本委員	竹内委員 木村委員 (計11名)
	・報道関係	函館新聞社			(計1社)
	・傍聴者				(計0名)
欠席委員	関根委員	金澤委員	熊谷委員	田村委員	(計4名)
事務局の出席者の職氏名	南茅部支所長 同副支所長 南茅部教育事務所長 南茅部支所地域振興課長 同住民サービス課長 同保健福祉課長 同産業課長 同建設課長 同建設課参事 南茅部教育事務所副所長 南茅部支所地域振興課主任 同地域振興課主任主事	細井 徹 小中捷弘 石坂新一 鎌田輝蔵 上遠野輝夫 長谷川大春 竹田喜代志 河合満夫 西田俊一 坂口孝治 坂本文子 加我明夫	企画部地域振興室長 同地域振興課長 同地域振興課主査 同地域振興課主任主事	梅田誠治 佐藤洋一 進藤昭彦 池田達也  教育委員会生涯学習部文化財課 参 事 阿部千春	(計17名)

1 開会（午後2時00分）	
事務局 （鎌田課長）	ただ今より，平成18年度第1回函館市南茅部地域審議会を開会する。
2 会長あいさつ	
秋本会長	<p>&lt; 挨拶要点 &gt;</p> <p>いよいよ，天然昆布の採取も間近に迫り，浜も活気に満ちてきた。皆さんには，そうした忙しい中を出席いただき，感謝申し上げます。本日の審議会では，前回，3月に開催の折りに，意見・要望のあった事項の報告と平成17年度事業の実績報告を受け，検証いただく予定である。また，地域振興に関する意見交換も予定している。委員各位の忌憚のない意見・提言を期待して，開会の挨拶としたい。</p>
3 支所長あいさつ	
細井支所長	<p>&lt; 挨拶要点 &gt;</p> <p>養殖昆布の作業が本格化し，天然昆布の採取を間近に控え，最も忙しい時期を迎えての出席に，心から感謝申し上げます。また，日頃，各種の事務・事業などに協力をいただき，この場を借り，重ねてお礼を申し上げたい。本日の会議内容は，17年度実施事業の検証が主となっているようであるが，活発な意見・提言を，私からもお願いしたい。平成18年度は，将来を見据えた支所のあり方の検討など，当地域にとっても，極めて重要な1年になると考えている。引き続き，皆さんの力添えを心からお願い申し上げ，挨拶としたい。</p>
4 出席員の報告	
事務局 （鎌田課長）	出席者10人，欠席者5人，地域審議会の設置に関する規程第8条の規定により，会議は成立した。
5 報告事項（1）前回の意見等の集約結果と取り組み状況について	
秋本会長	日程5の報告事項について，事務局から説明願う。その後，質疑を受けることとする。
事務局 （鎌田課長）	（報告1について，資料1～4のとおり説明）
	（14時05分，堀野委員出席）
秋本会長	報告事項について，質疑ありませんか？

濱田委員	<p>電話の基本料金について、南茅部町の時は、こんなにも優遇されていたのかと思った。</p> <p>新聞やテレビ等でも報道されているが、地方よりも都市部優先といった形で物事が決められている傾向にあり、むなしさを感じる。</p>
事務局 (鎌田課長)	<p>基本料金の設定については、受益者負担の考え方にに基づき、利用率の高い区域に厚く料金の負担を求めているようになっている。</p> <p>現在、01372地域は、加入数5万未満の1級局に区分され、基本料金もその額となるところだが、元々、800以上8千未満の旧2級局だったことから、旧2級局の料金を据え置くという緩和措置がとられている。</p> <p>今後は、0138地域となり、加入数5万以上40万未満の2級局となるため、その料金が適用されることとなる。</p>
秋本会長	<p>通話料金についても説明してほしい。</p>
事務局 (鎌田課長)	<p>今後、旧市内への通話料金は、20円から8.5円になる。</p> <p>あまり旧函館市内へ電話をかけることのない方にとっては割高になってしまいが、本来、市外局番の変更は、合併にあたっての地域の要望事項として取り進めてきたものであることから、ご理解願いたい。</p>
木村委員	<p>基本料金は、事務用と住宅用に区分されているが、漁業者は事務用として取り扱われている。</p> <p>中には、漁業を廃業しても、事務用のまま契約していて、住宅用より高い料金を支払っている方もおり、今回、基本料金に変更になれば、さらに高い料金を支払うことになるので、住宅用へ手続きするよう周知してはどうか？</p>
高田副会長	<p>当時、電話局では、住宅用より事務用の方が、早く電話が取り付けられるという説明をしており、漁業者の大半は、事務用だと思われる。</p>
竹内委員	<p>これは個人の問題だと思う。</p> <p>私も最初、事務用だったが、手続きをして、住宅用に切り替えた。</p> <p>ただ、住民も合併するからという理由で、市外局番の変更を要望したが、基本料金が高くなることは知らなかったと思うので、行政サービスとして、そのような周知をしてもいいのではないか？</p>
事務局 (鎌田課長)	<p>廃業者の把握などは、行政として対応できる限界があるので、漁業協同組合やNTTと協議していきたい。</p> <p>また、基本料金が高くなることについては、合併の地域説明会など、機会あるごとに説明してきたところであり、ご理解願いたい。</p>
大槌委員	<p>合併に伴い廃止または変更した事業について、納税貯蓄組合が廃止となるが、非常に残念である。</p> <p>この組合があるおかげで、納税意識が高まっていた。</p> <p>何とかならないのか？</p>

事務局 (鎌田課長)	納税貯蓄組合は、旧函館市にはなく、合併時に廃止するという事で協議されたが、地域からの要望もあり、3年間の経過措置を適用することとしたものである。
秋本会長	税金は本来、自分で納めるものであり、市全体の中で一貫した取り扱いにしなければならないことと、行財政改革という側面もある。
企画部 (梅田室長)	以前は、旧函館市でも納税貯蓄組合があり、補助金を支給していたが、納税は国民の義務であることから、自主的な納付を促していくこととし、段階的に廃止していった。
大槌委員	組合がなくなると、収納率が下がってしまうのではないかと？
企画部 (梅田室長)	市では、税金を滞納している方へ督促しているが、応じない場合は財産を差し押さえ、公売によって得た収入を税金に充当している。 自主納付を積極的に推進していくというのが、市の考え方である。
秋本会長	ほかに質疑ありませんか？  (特になし)
秋本会長	ほかに質問が無いようなので、質疑を終了します。
6 議題	(1) 平成17年度事業の実績報告について
秋本会長	日程6の議題に入ります。 (1) 平成17年度事業の実績報告について、事務局から説明願います。
事務局 (鎌田課長)	(資料5のとおり説明)
秋本会長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。 質疑ありませんか？
加藤委員	医療機器の購入について、当初予算よりも実績額が、約2千万円多くなっているが、その理由は？
教育事務所 (坂口副所長)	病院の前事務長だった私の方から説明したい。 当初、全自動分包機は購入する予定でなかったが、故障により、買い換えなければならなくなったことから購入したものであり、その分が当初予算よりも多くなっている。
加藤委員	今、病院の隣に薬局を建てていると聞いたが本当か？

細井支所長	民間の薬局と聞いている。
加藤委員	薬局が隣に出来るのであれば、病院の薬局と重複し、今、機器を購入しても、いずれ不要になるのではないか？
企画部 (梅田室長)	市立函館病院では、院外処方を導入しており、外来患者の薬については、外の薬局から薬をもらうこととなっている。 ただし、入院患者の薬については、院内の薬局で出すこととなっているので、入院患者のいる病院は、それらの機器が必要となる。
竹内委員	南茅部病院は、まだ全て院内処方となっているが、病院の隣に民間の薬局が建つのは、2～3年後に院外処方になるからだという話も聞こえてくる。 そういう話とは全く関係ないのか？
企画部 (梅田室長)	今年の4月から病院局となり、地方公営企業法が全部適用となった。 4月1日から、病院事業は、人事関係も含めて、公営企業管理者である病院局長のもとに管理部を設け、市立函館病院、市立南茅部病院、市立恵山病院の経営全般を統括して運営されることとなった。 将来的に病院の経営形態を見直す際に、院外処方となる可能性はある。 院外処方への移行を見越して、民間の調剤薬局の参入が増えてくると思われる。
秋本会長	ほかに質疑ありませんか？  (特になし)
秋本会長	ほかに質疑が無いようなので、質疑を終了します。
7 地域振興全般に関する意見交換について	
秋本会長	日程7の地域振興全般に関する意見交換を行います。 どなたか、ご意見ありませんか？
坂本委員	新川汲トンネル工事の土砂から重金属が検出されたという報道があったが、状況を説明してほしい。
細井支所長	5月の連休明けから、掘削工事が中断している。 その要因は、トンネル内から出た重金属を含む捨て土で、今まで鉄山方面に運んでいたが、地元住民から反対を受け、中断せざるを得ない状況にある。 事業主体である土木現業所では、今後、検討委員会を設けて、それらの土砂がどのような影響を及ぼすのかを調査し、対応について検討したうえで、住民の理解を求めていくこととしている。 6月の下旬に行われた亀尾地区の住民説明会では、非常に厳しい意見もあり、捨て土の問題が解決しなければ、掘削工事の延期も予想される。

小中副支所長	地域にとっては重要な事項なので、然るべき時期に皆さんにも説明したいと考えている。
細井支所長	安全性が大きな課題であり、我々としても、今後、判断する材料としていかなければならないと考えている。
木村委員	業者側の事情で、中断しているわけではないのか？
細井支所長	関係ない。
竹内委員	行政区域の関係について、合併に伴い町名が無くなったが、道路標識などを見ると、「旧南茅部町」という表示もあれば、新聞記事では「南茅部地区」と紹介されている。 行政区域として、南茅部地区が正式名称となっているのか、便宜上使われているだけなのか教えてほしい。
細井支所長	開発局は、道路標識の表示方法について、カッコ書きで旧町名を付けることで統一している。 報道上の表記については、部内で協議することとしたい。
企画部 (梅田室長)	合併建設計画では、旧4町村について「地域」という呼称を使用している。 ただし、合併する前の関係については「旧」を付けており、これは、合併前のことと合併後のことを区分けするために、そのような使い分けしているものである。 また、「地域」と「地区」の区分については、「地域」の方が「地区」よりも広い範囲として用いている。 来年度に、新しい総合計画を策定する予定であり、その中での4地域の呼称が、今後、正式なものになっていくと思われる。
加藤委員	先程の報告にあった納税貯蓄組合の件について、旧函館市で組合が廃止されてから、何年くらい経っているのか？
企画部 (梅田室長)	平成10年頃にはほとんど解散しており、8年位経過している。
加藤委員	資料では、「平成19年度末経過措置満了により解散予定」とあるが、解散後、納税率が下がった場合、復活することもあり得るのか？
事務局 (鎌田課長)	市からの補助金が廃止となることから、組合としては、解散することを選択したものであり、組合の自主的な活動や、みんなで納税していこうという意志を妨げるものではない。
秋本会長	ほかにご意見ありませんか？  (特になし)

秋本会長	<p>ほかに無いようですので、これで意見交換を終了します。 次回の地域審議会は、10月を予定しております。 本日は、これをもちまして閉会いたします。 どうも有り難うございました。</p> <p>(午後3時05分、閉会)</p>
------	---